

# 新美南吉

Nankichi Niimi 110th Anniversary

## 生誕百十年

児童文学作家で詩人でもある新美南吉は、  
自身の創作を泉にたとえた。  
その清冽で汚れない泉は、  
今もなお私たちの心を清め潤してくれる。  
さあ、哀しくも美しい、南吉の泉を汲みにいこう。



さあこの泉を汲みにいこう

泉

この泉の水を汲んでくれ  
これはさくやかな泉だ  
恰度茶碗に一杯いほどの水だ  
だが見てくれ  
この水は清冽で  
ま新しいのだ  
無限の青空が  
そのはりつめた方寸のおもてに  
くつきりうつてゐるではないか  
しんと動かないが  
耳を近づけてきいてくれ  
その底にしんと  
力のみなきうつぶやきが  
聞えるではないか  
この泉は四方の大きい岩を  
じみじみと水の日夜をかけて  
絶えずしんとはつて来た水が  
一切の汚辱を去り  
みちのくにこりもとめず  
今朝ここに光ちたものだ  
見てくれ、底の砂粒の一つ一つが  
寶石のやうにきらきらしてゐる  
塵一つ、枯葉の片一つ  
沈んではゐない  
もつと頬をその表面に近づけて  
見てくれ  
水のやうな息吹が  
泉からたちのぼる冷気が  
君の感覚をさほしめないか  
さあ  
この泉を汲んでくれ  
もう手を出してすくつてくれ



2023年は新美南吉生誕110年

半田市

新美南吉のふるさと半田市では各種記念事業を実施します。

新美南吉記念館 TEL0569-26-4888

新美南吉生誕110年

